

U25 学生対象年額 120 万円の奨学金 後期募集 5 月 15 日（月）まで 「クリエイター奨学金」締切まで 2 週間

「クリエイター奨学金」は、次代を担う学生クリエイターの活動を支援・助成することを目的としています。

2017 年 4 月 1 日現在で 25 歳以下の学生クリエイターを対象として選考を行い、
選抜された 50 名に対して月額 10 万円（年額 120 万円）を給付いたします。

創作活動に「本気で取り組む 1 年」を約束します。

■前期募集を終えて■

募集開始時より非常に大きな反響をいただき、創作活動に取り組む多くの学生クリエイターからエントリーがありました。海外からの積極的な応募をはじめ、対象例のほかにも「舞台芸術」「刀鍛冶」「お笑い」「バイオアート」など、多岐にわたる応募がありました。また、応募が多かったものは、「映像演出 (VJ)」「メディアアート」「ドキュメンタリー」などを含む映像分野でした。

世界での活躍が期待される学生クリエイターのみなさまと直にお会いする中で、自身と異なるジャンルで活躍する同世代クリエイターとのつながりや、そこから生まれる創作のヒント、作品を発表する機会が強く求められていることを再認識しました。引き続き、交流と発信を軸とした「新しい奨学金の形」を模索してまいります。

■カリキュラム■

奨学金の支給開始時から翌年 3 月の成果発表会まで創作活動を総合的にサポートします。世界で活躍するクリエイターになるためには個人で創作活動をするだけでは不十分で、「セルフプロデュース能力」を身につけて作品を発表し続け、その道の第一人者や企業、あるいは多くの人から評価されることが不可欠です。そこでクマ財団では、個人で行う「OUTPUT/ 創作活動」と並行して、「INPUT/ 学び」「PREVIEW/ 共有（中間発表）」「BRUSH UP/ 向上」「OUTCOME/ 成果発表」をカリキュラム化することで未来のトップクリエイター誕生をサポートします。

■対象クリエイター■

<技術者>テクノロジー・サイエンス・アプリ・サービス・ゲーム・ロボット・VR・言語・ツールなど
<アーティスト>映画・アニメ・漫画・作曲・プロダクトデザイン・グラフィック・建築・写真・絵画・彫刻・ファッション・メディアアート・工芸・小説・書道・戯曲・パフォーマンスなど

■締め切り■

2017 年 5 月 15 日（月）19:00

※前期応募者の再エントリーも可能となっております。新しい作品を追加するなど、提出書類を刷新してご応募ください。

■選考委員■

星野 准一 筑波大学院准教授 / 押元 一敏 東京藝術大学准教授

■公益財団法人クマ財団とは■

株式会社コロプラの代表取締役社長である馬場功淳が、2016 年 3 月 30 日に設立致しました。才能を持った人に「いいもの」を作って欲しい—そんな馬場の想いのもと、次代を担う若きクリエイターの活動を支援・助成することを目的としています。学生クリエイターを対象とした「クリエイター奨学金制度」の制定を主軸に、勉強会・交流会・プロによる批評会といったインプット機会の提供や、制作した作品の展示会など発表の場の提供、クリエイターとしての起業・独立支援などあらゆる側面から創作活動を積極的に支援してまいります。（2016 年 3 月 30 日 一般財団法人クマ財団 設立 / 同年 11 月 1 日 公益財団法人クマ財団に移行）

■理事長馬場功淳からのメッセージ■

私もクリエイターの一人として、これからの日本を担う若き才能を応援していきたい、誰もがその独創性を自由に表現できる社会にしたいという想いを抱き続けてきました。気概に満ちた学生クリエイターのみなさまにクマ財団を活用していただくことで、世界の方々の生活がより楽しく、より素晴らしいことを願ってやみません。クリエイティブの力で、ともに世界を変えていきましょう。

詳細情報＜クリエイター奨学金への想い＞

我々は本気で、クマ財団から世界へ羽ばたくクリエイターを送り出します。

■今、「学生クリエイター」を支援する意義■

映像技術やアニメ、漫画や伝統工芸など、日本のものづくりの実力は、今や世界的にもトップクラスの水準と言えるのではないのでしょうか。ただ、将来的に日本のクリエイターが世界を驚かす作品を作り続けていくためには、これからの未来を担う若い世代を時間をかけ、社会全体で継続的に育てていく仕組みが必要です。

「若さ」は、それ自体が一つの才能であり、私たちの活動は、その才能を育むための第一歩となります。クリエイターにとって創作活動にける「時間」は、最も貴重なものだと思います。学生クリエイターが、学費や生活のために働く時間を減らし、自分自身への投資や、創作活動に専念できる時間を増やすことで、学生が持つ「若さ」という最大の資源を社会のために有効活用してほしい。たくさんの方の事を学ぶことができる今だからこそ、作品制作に取り組む環境を提供し、世界へ送り出していきたい。私たちは、未来へ向けた強い想いを持って、学生クリエイターをサポートしていきます。

■新しい「クリエイティブシーン」の創出へ■

クマ財団では、ただお金を給付するだけではなく、年間を通したカリキュラムで、学生クリエイターが「個人」として幅広く活躍できるよう、物心両面からのサポートをしていきます。独立したクリエイターとして活躍していくためには、アイデアや想いを共有できる「場所」や、ジャンルを超えた同世代の「仲間」とつながることが重要だと考えています。クマ財団が、業界やジャンルを絞らず、垣根を超えた様々なクリエイターを対象として活動することで、これまでに誰も見たことがないコラボレーションを生み出したい。未来へ向けた、新しいクリエイティブシーン創出のきっかけを作りたい。クマ財団は、その一翼を担っていきたいと思っています。

■「世界レベル」へのチャレンジ■

「クリエイター奨学金」は、私たちにとっても未来を見据えた新しい試みであり、現在のクリエイティブシーンに対するチャレンジです。国内外を問わず、作品を世の中に発信すること。自身の向上のために他のクリエイターから評価を受ける機会や、所属する学校、組織、決まったジャンルの枠にこだわることなく、様々なアイデアをぶつけ合い、吸収していく場を持つことが、クリエイターとしての今後の成長に必要なものだと思います。学生クリエイターのこれら取り組みを全力でサポートすることで、クマ財団から、世界へ羽ばたくクリエイターを生み出していきます。

実力と熱意を併せ持った、学生クリエイターのみなさまの応募をお待ちしています。

クマ財団 事務局一同



理事長 馬場功淳

- 募集人数 -

50
名

- 年間給付額 -

120
万円
〈月額10万〉

- 対象クリエイター -

自らコンテンツを創作している者を「クリエイター」と定義し、広く募集しています。

【技術者】

テクノロジー・サイエンス・アプリ・サービス
ゲーム・ロボット・VR・言語・ツール

【アーティスト】

映画・アニメ・漫画・作曲・工芸・小説
プロダクトデザイン・グラフィック
建築・写真・絵画・彫刻・書道・戯曲
ファッション・メディアアート・パフォーマンス

詳細情報＜カリキュラム＞

■#1 OUTPUT 創作活動 通年■

第一期生は、奨学金を有効活用することで創作に必要な時間を確保し、「OUTPUT」に集中します。

奨学金は、創作活動に繋がるものであれば、自由にお使いいただけます。

第一期生は、翌年3月の成果発表会までの活動計画の実現に向けて、クマ財団のサポートを受けます。

■#2 INPUT 学び 7月～9月■

世界に通用する作品を創るためには、基礎的な知識や最新技術の習得はもちろん、セルフプロデュース能力を鍛えることも不可欠です。

徹底したリサーチや取材をする、プロからアドバイスを受ける、奨学生同士で情報・意見交換をする「INPUT」の機会を設け、合宿プログラムを主軸に、知識や技術の習得、セルフプロデュース能力の向上をサポートします。

■#3 PREVIEW 共有 10月■

「INPUT」した知識・技術・セルフプロデュース能力を用いて、4か月間の創作活動について中間発表をします。発表会では、講評（フィードバック）、奨学生同士のディスカッション、交流会を通じて視野を広げていきます。同世代で活躍する様々なジャンルのクリエイターの作品や考えを知ることができる、特別な「PREVIEW」の機会になります。

■#4 BRUSH UP 向上 11月～12月■

「INPUT」と「PREVIEW」を通して得た知識・技術・セルフプロデュース能力を活かして、作品を「BRUSH UP」していきます。また、3月の成果発表会に向けて、ポートフォリオやWEBサイト、展示など、より有効的で自分に合ったPR方法を模索・実行していきます

■#5 OUTCOME 成果発表 3月■

カリキュラムの集大成として、創作物を発表・展示する「KUMA Exhibition」を開催します。

同時に、第一期生の紹介と活動内容を掲載した「KUMA クリエイターズ カタログ」を制作します。

企業やギャラリー、スタジオはもちろん、様々な方面へのPRを目的とした「OUTCOME」の場を提供します。

#2 INPUT 学び

7～9月

ガイダンス
合宿
創作サポート

#3 PREVIEW 共有

10月

中間発表会
講評会
ディスカッション

#4 BRUSH UP 向上

11～12月

プロジェクト進行
ポートフォリオ作成
創作サポート

#5 OUTCOME 成果発表

3月

成果発表会
活動報告書提出
1期生カタログ制作
給付継続審査

#1 OUTPUT

創作活動

通年(7月～3月)

2017 年クリエイター奨学金

詳細情報＜応募要項＞

■応募資格■

- ① 2017 年 4 月に、高専 4 年生以上及び専攻科、専門学校、短期大学、4 年生大学、大学院、に在籍する学生
- ② 2017 年 4 月 1 日現在で 25 歳以下の者
- ③ 選考のため、自作の作品を提出可能な者

■給付期間■

2017 年 7 月～2018 年 3 月（初回は 4 ～ 7 月分の奨学金を給付、8 月からは月ごと給付）
※但し、2018 年 3 月の給付継続審査にて承認された者は 2018 年 4 月～2019 年 3 月も引き続き給付資格を得る。

■応募方法■

応募方法

01

クマ財団 WEB サイトからエントリー

02

願書・作品を提出

「クリエイター奨学金」第 1 期生の情報は、
こちらの Web サイトより取得してください。

クマ財団

検索





<https://kuma-foundation.org>

2017 年クリエイター奨学金

詳細情報＜財団概要＞

財団名	：	公益財団法人 クマ財団 平成 28 年 3 月 30 日 一般財団法人クマ財団 設立 平成 28 年 11 月 1 日 公益財団法人クマ財団に移行
理事長	：	馬場 功淳 株式会社コロブラ代表取締役社長
事務局長	：	緒方 仁暁 株式会社コロブラ執行役員 人財本部長／株式会社コロブラネクスト キャピタリスト
選考委員	：	星野 准一 筑波大学院システム情報工学研究科 准教授 押元 一敏 東京藝術大学美術学部 准教授